

2019  
Hong Kong

# 国際地理 オリンピックに ようこそ!

第13回 科学地理オリンピック日本選手権 および  
第16回 国際地理オリンピック日本代表選抜大会



国際地理オリンピック日本委員会公式サイト <https://japan-igeo.com/>

主催：国際地理オリンピック日本委員会

共催：公益社団法人 日本地理学会、公益社団法人 日本地球惑星科学連合、国立研究開発法人 科学技術振興機構 (JST)

後援：文部科学省、国土交通省 国土地理院、日本地理教育学会、日本地図学会、一般社団法人 人文地理学会、経済地理学会、東北地理学会、地理科学学会、地域地理学会、一般社団法人 地理情報システム学会、公益社団法人 東京地学協会、一般社団法人 日本地図センター、立命館地理学会、一般財団法人 地図情報センター

協賛：帝国書院、二宮書店、古今書院、東京カートグラフィック、日経ナショナル ジオグラフィック社

# 国際地理オリンピックは 「地理力」競う

## 地理オリンピックの歴史

地理オリンピックのルーツは、1965年、エストニアの大学生が企画した「環バルト海地理競技会」がルーツです。地理学を学ぶ学生が国の垣根を越えて集まり、地理教育の未来を語り合いました。

1994年に行われたIGU(国際地理学連合)の総会(プラハ:チェコ)で、オランダとポーランドの委員が「国際地理オリンピック」を提案しました。それ以降、14回の世界大会と3回の地域大会(アジア・オセアニア地域)が行われました。そして2019年には香港で第16回国際地理オリンピック iGeo Hong Kong 2019 が行われます。

## 国際地理オリンピック(世界大会)

第1回大会	1996年	ハーグ:オランダ
第2回大会	1998年	リスボン:ポルトガル
第3回大会	2000年	ソウル:韓国
第4回大会	2002年	ダーバン:南アフリカ共和国
第5回大会	2004年	グディニア:ポーランド
第6回大会	2006年	ブリズベン:オーストラリア
第7回大会	2008年	カルタゴ:チュニジア
第8回大会	2010年	タイペイ:台湾
第9回大会	2012年	ケルン:ドイツ
第10回大会	2013年	京都:日本
第11回大会	2014年	クラクフ:ポーランド
第12回大会	2015年	トヴェリ:ロシア
第13回大会	2016年	北京:中国
第14回大会	2017年	ペオグラード:セルビア
第15回大会	2018年	ケベックシティ:カナダ

## 地域地理オリンピック(地域大会)

第1回大会	2007年	シンチュー:台湾
第2回大会	2009年	つくば:日本
第3回大会	2011年	メリダ:メキシコ

## 国際地理オリンピックは 3つの種目で競います。

### ◆記述式テスト(WRT)

さまざまな地理的な現象や地域の課題についての問いに、地図や写真、統計などの資料を手掛かりに答えます。答えを導き出す過程も採点の対象になります。

### ◆マルチメディアテスト(MMT)

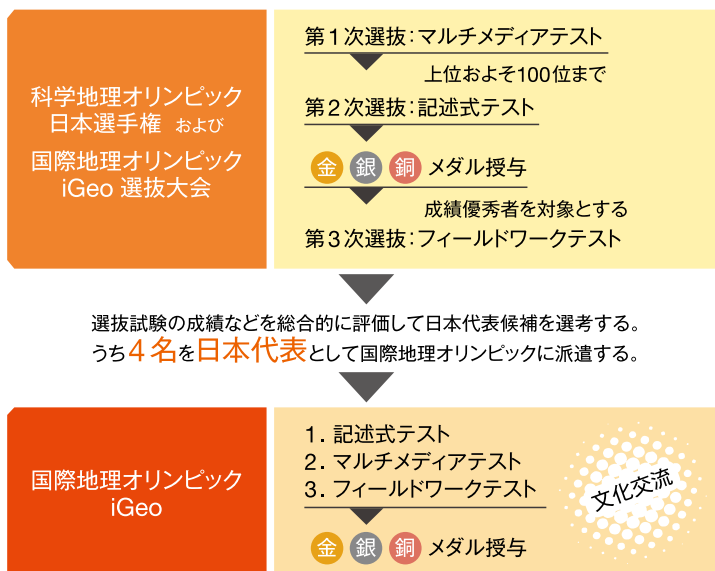
地図、写真、グラフなどを使って、そこで表されている地理的な現象や課題を読み取るテストで、解答は4つの選択肢から選ぶ客観式テストです。

### ◆フィールドワークテスト(FWT)

指定された地域のコースを歩きながら観察します。いくつかのチェックポイントをまわり、そこで説明を受けます。競技者は、観察した地理的な現象や地域のようす、観察できる景観についてメモを取りながら歩きます。そして、課題が出されて作業を行います。野外での観察と作業のあと、それらをもとにした問題に答えます。問いかけが求めていることを的確に表すことが求められます。

「地理オリンピック」の共通言語は英語です。国際地理オリンピック(世界大会)ではすべて英語での出題と解答が求められます(辞書の持ち込みは可)。そのため、科学地理オリンピック日本選手権でも全体の2割の問題は英語による出題・解答です。英語による解答は、上手な文章でなくても、論理的に正しく的確に表現することが大切です。非英語圏の国々からも、多くのメダル受賞者が出ています。

「地理オリンピック」の世界大会や地域大会では、さまざまな国の学生や先生と交流することも目的とするところでは、世界には、「地理」を理科の科目のひとつとして学んでいる国もあれば、地理と歴史が補完的な関係を持ち同じ先生が地理と歴史を教える国もあります。さまざまな国・地域から集う学生や先生と交流し、お互いの国の文化、教育などについてさまざまな相違点を共有し合うことは地理オリンピックの大切な役割です。



## ◆ 募集要項

### 参加資格

2018年4月以降、大学およびそれに相当する教育機関で教育を受けていない19歳未満の者。ただし、世界大会の出場選手(4名)は、2019年6月末の時点で16歳～19歳の者から選出されます。

※高校・高専3年生および中等教育学校6年生は、本大会には参加できませんが、世界大会の選抜対象にはなりません。

### 選抜について

#### ■第1次選抜 2018年12月15日(土)

会場：札幌、函館、秋田、盛岡、山形、仙台、会津若松、土浦、前橋、東京、新潟、上越、金沢、高岡、福井、静岡、豊橋、名古屋、京都、福知山、大阪、加古川、浜田、岡山、福山、広島、高知、福岡、久留米、長崎、大分、宮崎、鹿児島、那覇の34会場を予定。

なお、応募状況などにより、会場を変更することがあります。最新の情報を、国際地理オリンピック日本委員会のホームページ(<https://japan-igeo.com/>)で確認してください。また、担当の先生が責任を持って試験会場を提供し、試験を実施していただける場合は、特例的に試験会場を設置することができます。ご希望がある場合には、科学オリンピック共通事務局(TEL: 042-646-6220、E-mail: info@contest-kyotsu.com)にご連絡ください。検討の上、主催者が決定します。

#### 内容：マルチメディアテスト

〈スライドで提示する地図・図表・写真などをつかった問題に答える客観式テスト〉問題の約2割は英語による出題で辞書の持ち込みは紙媒体のみ可能。解答時間は60分。

#### 選考：テストの成績上位約100名が第2次選抜に進むことができます。

テストの結果は、後日、個人宛てに郵送します。

#### ■第2次選抜 2019年2月17日(日)

会場：東京、大阪などを予定。※前回大会では全国10カ所で実施。

第2次選抜受験者の居住地を考慮して会場を指定します。

#### 内容：記述式テスト

〈地図・資料などの読解を中心とした記述式テスト〉問題の約2割は英語による出題で辞書の持ち込みは紙媒体のみ可能。解答時間は120分。

#### 選考：成績優秀者を表彰し、金、銀、銅メダルを授与します。

成績優秀者の上位から選抜された者が第3次選抜試験に進むことができます。

テストの結果は、後日、個人宛てに郵送します。

#### ■第3次選抜 2019年3月9日(土)～10日(日)

会場：関東地方で実施予定。

#### 内容：フィールドワークテスト

〈フィールドワークをもとにした筆記・作図などの試験〉問題の約2割は英語による出題で辞書の持ち込みは紙媒体のみ可能。当該の受験生には直接通知します。

#### 選考：選抜試験の成績などを総合的に判断し4名を日本代表として、2019年8月上旬(予定)に香港で開催予定の第16回国際地理オリンピックに派遣します。

### 問題について

過去の問題は、国際地理オリンピック日本委員会のホームページ(<https://japan-igeo.com/>)で閲覧することができます。

なお、2010年までは、第1次、第2次選抜の区別はなく、マルチメディアテストと記述式テストを同日に行っていました。

### 参加申込みについて

申込期間：2018年9月1日(土)～11月15日(木)

郵送は11月15日(木)必着、WEBエントリーは11月15日(木)23:59まで。

#### 申込み方法：郵送またはWEBエントリー

参加申込書を郵送する方法と、申込み専用ページからWEBエントリーする方法があります。どちらの申込み方法でも、個人で申し込む「個人申込み」と学校ごとに団体で申し込む「学校申込み」が選べます。なお、応募にあたっては保護者の同意が必要です。WEBエントリーでは保護者同意欄にチェックを、郵送の場合は保護者の署名・捺印を、それぞれ忘れないようにお願いします。

「個人申込み」 申込み専用ページからWEBエントリーするが、本募集要項に添付された参加申込書に必要事項を記入して下記の郵送申込書送付先に郵送してください。

「学校申込み」 学校申込みには①学校で一括して申込み一般会場で受験する方法と、②自校で在校生だけで受験する方法があります。在籍する学校の担当の先生に相談してください。

〈担当する先生へのお問い合わせ〉

①の場合には、応募する生徒全員に本募集要項に同封された「申込書」の①個人(生徒)申込み欄に記入させ、担当する先生が「申込書」の②学校申込み(一般会場)欄に記入してください。応募する生徒の人数分の参加申込書と、先生が②に記入した参加申込書をまとめて、郵送申し込み送付先にお送りください。

③の場合には、担当する先生がWEB申込専用ホームページ(下記アドレス)にアクセスし、特例会場の設置条件を読み同意されたうえで、申請書をダウンロードして必要な項目に記入の上申請をしてください。実行委員会が協議して申請の可否を検討します。特例会場として認められた場合、④と同様に、応募する生徒全員に本募集要項に同封された「申込書」の①個人(生徒)申込み欄に記入させ、担当する先生が「申込書」の③学校申込み(特例会場)欄に記入してください。応募する生徒の人数分の参加申込書と先生が③に記入した参加申込書をまとめて、郵送申し込み送付先にお送りください。

### 大会参加費等について

大会参加費は無料です。

ただし、会場までの交通費等は参加者の負担となります。

### 国際地理オリンピックは大学のAO入試・推薦入試等の特別入試の対象です。

科学地理オリンピックで日本代表として選抜された者あるいは日本国内で行われる代表者選考等で一定の成績を収めた者を対象として、筑波大学・東北大学・駒澤大学では、特別入試の対象となっています。

WEB申込み専用ホームページ

<https://contest-kyotsu.com>

#### 参加申込みに関するお問い合わせは

☎ 科学オリンピック共通事務局へ!

・TEL 042-646-6220  
(平日12:00～13:00 / 17:00～19:00)  
・E-mail info@contest-kyotsu.com

#### 郵送申込書送付先

〒192-0081 東京都八王子市横山町10-2  
八王子SIAビル8F  
(株)教育ソフトウェア内  
科学オリンピック共通事務局 宛て

### 個人情報の取り扱いについて

「科学地理オリンピック日本選手権兼国際地理オリンピック選抜大会」は、国際地理オリンピック日本委員会(以下、「主催者」といいます)が主催しています。ご提供いただいた個人情報は、次のように取り扱います。参加申込みされる方およびその保護者は、以下の内容について同意した上で申し込んでください。

#### 1. 個人情報の収集目的について

「科学地理オリンピック日本選手権兼国際地理オリンピック選抜大会」においては、参加申込みの際に提供された参加申込者本人およびその保護者に関する個人情報ならびに「科学地理オリンピック日本選手権兼国際地理オリンピック選抜大会」の各段階において記録・撮影される写真等は主催者に登録され、主催者が本事業の円滑な運営を遂行するために使用するとともに、本事業に関連する各種広報のために利用させていただきます。

#### 2. 個人情報の第三者への提供・預託について

ご提供いただいた個人情報は、「科学地理オリンピック日本選手権兼国

際地理オリンピック選抜大会」の実施運営のため、管理されます。提供することにあたっては、主催者は個人情報の適切な管理を実施いたします。ご提供いただいた個人情報の一部を、参加申込者の受験される第1次選抜の会場に対して、第1次選抜当日の出欠確認のために必要な範囲内で一時的に提供し、使用後返却回収します。

#### 3. 個人情報の業務委託について

主催者は「科学地理オリンピック日本選手権兼国際地理オリンピック選抜大会」の申込受付業務および受験業務の一部を株式会社教育ソフトウェアに業務委託しております。

#### 4. 個人情報のご提供の任意性について

個人情報のご提供は任意ではありますが、必要な情報がご提供いただけない場合は、上記利用目的の遂行に支障が生じる可能性がありますので、ご理解のほどよろしくお願いたします。

#### 5. 個人情報の管理者について

ご提供いただいた個人情報は以下の者が適正に管理いたします。

国際地理オリンピック日本委員会実行委員会  
実行委員長 井田 仁康  
国際地理オリンピック日本委員会実行委員会  
事務局長 滝沢 由美子

#### 6. 個人情報に関するお問い合わせについて

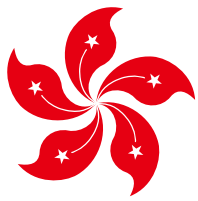
ご提供いただいた個人情報に関して、開示、および開示の結果、当該情報が誤っている場合に訂正または削除のお申し出をいただいた場合には、速やかに対応させていただきますので、下記までご連絡ください。

〒113-0032 東京都文京区弥生2-4-16  
学会センタービル  
公益社団法人 日本地理学会 事務局 気付  
国際地理オリンピック日本委員会 事務局  
E-mail: geolympiad@ajg.or.jp





第16回



# 国際地理オリンピック Hong Kong 2019

会期 2019年8月上旬(予定)

会場 香港およびその周辺



## 地理オリンピックガールズトーク

Girl's  
Talk

「地理オリンピック」って男だらけ？ そんなことないです。世界では女子が活躍しています。強化研修会で再会した2014年クラコフ大会に出場した金田懐子さんと引率教員の井上明日香先生そして、国際地理オリンピック日本委員会実行委員会事務局長の滝沢由美子先生。女子が語る国際地理オリンピック世界大会。

金田 懐子さん K (東京都立武蔵高等学校出身 東京大学教養学部 2014年クラコフ大会出場)

井上 明日香さん I (国際地理オリンピック日本委員会実行委員、神奈川県立川崎高校教諭 2014年クラコフ大会引率教員)

滝沢 由美子さん T (国際地理オリンピック日本委員会事務局長、元帝京大学教授)

I: 金田さん久しぶり。大学はどう。

K: 先生、お久しぶりです。楽しんでますよ。東欧の言語や文化に興味をもって勉強しています。

I: それは、クラコフに行ったこと関係ある？

K: もちろん。地理オリンピックに参加して刺激されたことが影響しています。地理オリンピックではいわゆる試験だけでなく、交流プログラムも充実していました。

T: 女子の参加者は多いのかしら？

K: 実は、世界大会では女子の参加者は多いのです。日本で予選を受けたときは男子がはるかに多かったけど…。テストの結果は知りませんが国際交流は、実は女子が得意ですね。どこの国でも女子のほうがパワーあるみたい(笑)。おかげさまで世界中に友人ができました。

I: リーダーも女性が多いですし、女子が少ないという意識はないですね。実際数は男子がやや多いですが…。本当に女性はどこでも強いですよ(笑)。今でも印象に残っていることはありますか？

K: 自転車で国境を超えたことが印象に残っています。人も言葉も文化もつながっているという実感を持ってました。

T: とところで、どうして地理オリンピックを受けたの？

K: 高校の地理の先生の勧めです。クラコフで世界大会があるのだけど受けてみないって。行ってみたいところだったし。でもまさか代表になって実際に行くことができるとは思ってなかった。他の科学オリンピック、たとえば数学や物理などはどこでやってもあまり関係ないですよね。でも地理はどこでやるかって重要だと思います。

T: では、地元の学生が有利なの？

K: そんなことないです。開催国の全選手は4名だけだし、地理的なことを知っているかより、観察力、地図読解力や作成力そして分析力が必要な問題がほとんどですから。地理は様々な分野があるので、自分の興味のある分野から勉強するのも悪くないと思います。

I・T: そうですね。



## テストの様子 (京都大会より)



### 記述式テスト



国際大会では英語で解答します



### フィールドワークテスト



現地での景観観察



観察事項をまとめる



現地での課題説明

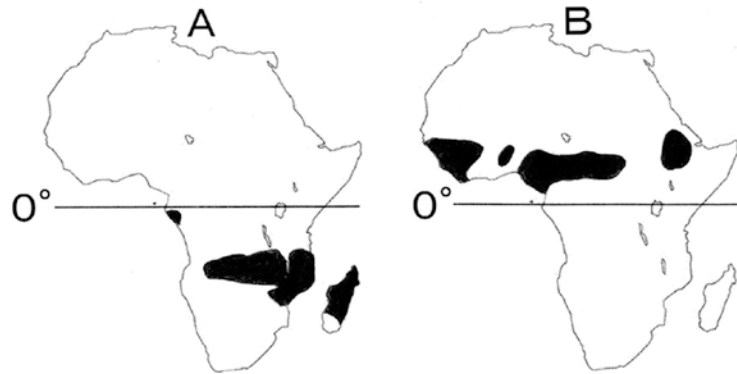
## ここでは科学地理オリンピックの国内選抜試験で出題された問題をご紹介します

### マルチメディアテスト (MMT)

#### 第1次選抜試験 問題例

分布図A、Bは、ある期間の降水量が200mm以上の地域を表している。正しい組合せはどれか。

- ① A-1月・B-7月
- ② A-7月・B-全年
- ③ A-1月・B-全年
- ④ A-7月・B-1月



#### 解答のポイント

アフリカは気候帯のモデルともいわれる。本問では大気の大循環と季節変化の理解を問うている。熱帯収束帯(赤道低圧帯)は、降水量は多いが、そこから南北に離れるにつれ降水量は減り、中緯度高圧帯ではほとんど降水量は少なくなる。太陽の回帰にともなって、熱帯収束帯は7月には赤道より北側に、1月では南側に移動する。したがって、Aは1月、Bは7月となる。

### 記述式テスト (WRT)

#### 第2次選抜試験 問題例 (一部改題)

図は日本の都道府県における地震保険料の等地(2017年)を示している。地震による損害が一番大きいと想定されるところが3等地で保険料が最も高い。

8つの都県が3等地に指定された理由を、自然的条件と社会的条件に分け、具体的な都県名や地域名をあげながらそれぞれ説明しなさい。

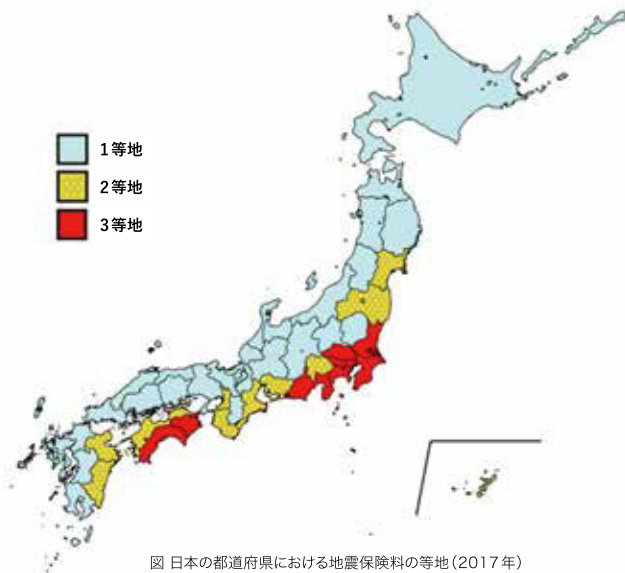


図 日本の都道府県における地震保険料の等地(2017年)  
(損害保険料率算出機構HPより作成)

#### 解答のポイント

自然的条件: 静岡・徳島・高知は南海トラフで海溝型の巨大地震が発生する可能性が高い。

関東平野に位置する東京・埼玉・神奈川・千葉・茨城は、軟弱地盤の沖積平野の範囲が広い。

社会的条件: 首都圏の東京・埼玉・神奈川・千葉・茨城(から静岡)は人口が多く、建物が密集しているため。





2017年8月にセルビアで行われました /  
第14回

# 国際地理オリンピック iGeo Beograd 2017

## 代表生徒・引率教員レポート

世界大会はテストではありません。  
ポスターセッションや文化交流・エクスカージョンなど  
多彩なプログラムが用意されています。参加国・地域中  
第1位を獲得したポスターを中心に紹介します。

「地理」という学問の広さを実感しました。地理は学際的な学問です。  
課題を解決するためには、人文学や地球科学をはじめとする幅広い内容  
を理解し、それらを相互に繋ぐ能力が必要となります。今回の大会でも、  
潮汐の仕組みとモンサンミッシェルの開発に係る問題を相互に関連付け  
る問題が出題されました。加えて、地理は座学にとどまりません。日本代  
表は川越での巡検の結果と考察をポスターにまとめ、最優秀賞をいただき  
ました。地理を学ぶと多くの学問を包括的に学ぶことができます。この  
大会に参加して貴重な体験をすることができました。

日本代表選手 青沼恵人：筑波大学附属駒場高等学校3年

地理オリンピックでは3種類のテストによってメダルを争いますが、そ  
の他にも様々な興味深いイベントが用意されています。今大会のポス  
ター発表部門で日本代表は最優秀賞を受賞しました。日本代表の仲間  
とともに試行錯誤して作り上げたポスターに対し、賞を頂いた時の喜び  
は今でも忘れられません。また、世界各国の優秀な選手たちと交流する  
中で多様な価値観に出会うことができ、自分の世界が大きく広がりました。  
地理オリンピックでのテスト、ポスター発表、文化交流、その全てが  
私にとってとても刺激的でかけがえのない経験でした。

日本代表選手 篠原周太郎：東京大学教養学部(理科一類)1年  
京都市立堀川高等学校出身

国際地理オリンピックへの参加はかけがえのない経験になりました。  
様々な国の代表選手と話したり、文化も言葉も全く異なる地域でフィー  
ルドワークをしたことは、非常に刺激的で思い出に残っています。国際  
大会では「Sustainability」が重要視され、これは、社会問題に対する  
解決策を提案する上で欠かせません。何より学べたことは、自国の文化  
に誇りを持ち、異なる文化を尊敬する姿勢です。普段の日本での生活  
上は異なる国の人々や文化に触れる機会はそう多くありませんが、国際  
的な場面ではこの姿勢が重要であることを痛感しました。地理オリは、  
世界を知る素晴らしいチャンスだと思います。

日本代表選手 田口康之：東京大学教養学部(理科一類)1年  
東京都立武蔵高等学校出身

地理オリンピックで扱われる地理は、単なる暗記科目ではなく、科学  
であり、実学的な学問です。様々な自然現象、社会現象を論理的に考  
察すること。実際に街を歩き、その問題点を分析し、新しい方法を提言  
すること。僕は地理オリンピックへの参加を通じて、これらの地理の新しい  
一面に気づくことができました。また、大会で出会った他国の選手たち  
は、地理の知識にとどまらず、様々な分野についての深い知識を持って  
おり、多様な文化や価値観に触れることができました。セルビアでの  
10日間は非常に有意義なものになったと思います。

日本代表選手 日名子晃一：広島大学医学部医学科1年  
広島大学附属福山高等学校出身



エクスカージョン時に  
リトアニア代表とともに記念撮影



表彰式後に国旗を手に記念撮影



フィールドワークエクササイズに備えての  
勉強会の様子



ドナウ川をバックに記念撮影

POSTER  
SESSION



記述式とフィールドワークの2つのテストでは、身近な事象を切り  
口に、現代的諸課題へつなげる問いが設定されています。そこでは  
「①野外での観察結果や地図・統計などの資料を分析し、課題を抽  
出する、②課題をもたらし背景・要因について明らかにする、③課  
題解決のための具体策を考える、④持続可能な社会形成へ向けて  
のプランを提案する」という探究活動が重視されています。ここから、  
地理が社会的有用性の高い科目であることは明白です。あなたも  
ぜひ日本選手権を受験し、地理の奥深さを存分に味わってください。

日本代表チームリーダー 泉 貴久：専修大学松戸高等学校教諭

国際地理オリンピックの開会式、日の丸を掲げた選手4人が入  
場した時、国を背負っていることの誇りを感じました。ポスター  
部門では、与えられたテーマを4人の代表選手で事前に調べ、ポ  
スターセッション形式で英語による発表と質疑応答を行います。  
閉会式、ポスター部門の1位で「JAPAN」が呼ばれた時の喜びは  
忘れられません。日本代表までは狭き門ですが、国内予選を受  
けることで、世界が求める地理的スキルや応用力を知り、地理の面  
白さを再認識できるはず。次の世界大会で日の丸を背負っ  
ているのは、これを読んでいるあなたかもしれません。

日本代表チームリーダー 小河泰貴：岡山県立津山高等学校教諭